

和歌山病院での実習を終えて



岸本 華歩

今回、第3内科の臨床実習の一環として、和歌山病院で2日間の実習をさせていただきました。和歌山病院には、県内唯一の結核病棟があり、これまで教科書で学んできたことを、実際の臨床現場の見学やセミナーを通して改めて理解することができました。

南方院長、駿田副院長のセミナーは、答えを自分で考えることが求められ、考え方を身につけることができました。特に印象に残っているのは、南方院長のX線読影のセミナーです。今まで漠然と苦手だ感じていましたが、正常の構造、どんな時に線となって写るのか、など基本から教えていただき、少し苦手意識が薄れたと思います。臨床実習では、X線画像を読む機会がたくさんあるので、教えていただいた知識を活用して、理解を深めていきたいと思います。

初日の夜には、南方院長に食事に連れて行っていただきました。先生の経験談や、御坊に纏わるお話を聞かせていただき、とても興味深かったです。また、空いた時間には、職員と近くの海へ行ったりと、御坊の爽やかな自然を楽しむこともでき、有意義な2日間でした。

最後になりましたが、南方院長、駿田副院長をはじめ、ご指導くださった先生方、また私たちの実習に関わってくださった職員の皆様、本当にありがとうございました。